

【引受保険会社】



〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

# 変額保険

## グローバルミックス

## 月次運用レポート

2015年1月

【利用する投資信託の委託会社】

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社は、マルチ・エクスパートによる資産運用業務をグローバルに展開するアクサ・インベストメント・マネージャーズの日本法人として、機関投資家の資金や投資信託の運用を行う資産運用会社です。1987年の日本進出以来、ファンダメンタルズ情報と最新の運用テクノロジーを結合することにより、一貫した投資哲学に基づく株式のアクティヴ運用を行うとともに、債券、オルタナティブ投資商品といった幅広い投資家のニーズに応える高品質な運用商品を提供しています。



redefining / investment solutions

### 特別勘定の運用方針について

基本資産 配分比率	運用方針	利 用 す る 投 資 信 託 投資信託名	委託会社
株式 50%	日本国債をはじめとする債券及び日本・米国・欧州の株式に分散投資することにより、中長期での資産の安定的な成長をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。 基本資産配分は、株式50%程度、債券50%程度とします。 運用の決定にあたっては、収益性、安全性、流動性に配慮し、運用環境の動向に応じた資産配分を行います。	アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A) (適格機関投資家私募) アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B) (適格機関投資家私募) アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A) (適格機関投資家私募) アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A) (適格機関投資家私募) アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B) (適格機関投資家私募)	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
債券 50%	(特別勘定の運用は、アクサ生命保険株式会社 ALM & 特別勘定運用部が行います。)		

※ 特別勘定の運用方針、利用する投資信託および委託会社等の運用協力会社は、将来変更されることがあります。

※ 特別勘定には、各種支払等に備え、一定の現金、預金等を保有することがあります。

- ・ アクサ生命保険株式会社の「変額保険」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・ 当資料は、アクサ生命保険株式会社の「変額保険」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
- ・ 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・ 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・ 商品内容の詳細については「リファレンスブック」「ご契約のしおり・約款」「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・ 当資料に記載されている各表にある金額、比率、資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等していますので、合計等と合致しないことがあります。

# 変額保険

## 特別勘定の月次運用レポート（2015年1月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。
- 当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

### 運用環境 [ 2015年1月 ]

#### 【日本株式市場】

日本株式市場は、TOPIX(東証株価指数)が前月末比+0.54%上昇の1,415.07ポイントで終了しました。月前半は、原油価格下落に伴いリスク回避の動きが出たことや、欧州の政局不安などを受けて下落しました。月後半は、原油価格が落ち着いたことや、ECB(欧洲中央銀行)が追加金融緩和を決定するとともにドラギECB総裁が欧州経済の回復に向けた強い意志を表明したことなどを好感して上昇しました。業種別(東証33業種)では、内需安定業種の「医薬品」(前月末比+11.37%)が最も上昇した一方、個別銘柄の業績懸念から「その他金融業」(同△7.98%)が最も下落しました。

#### 【外国株式市場】

米国株式市場は、月前半、原油価格下落やECBによる追加金融緩和実施への期待が高まることなどから揉み合いながら下落しました。月後半は、2014年10~12月期企業決算などを手掛かりに上昇しましたが、昨年12月の耐久財受注が前月比で減少したことなどを受けて下落しました。NYダウは、前月末比△3.69%下落の17,164.95ドルで終了しました。欧洲株式市場は、月前半、原油価格下落などを受けて下落した後、ECBによる追加金融緩和期待の高まりなどにより上昇しました。月後半は、ECBによる追加金融緩和が市場の期待に応える規模であつたことなどから大きく上昇しました。市場別騰落率は、英FT100が前月末比+2.79%上昇、仏CAC40が同+7.76%上昇、独DAXが同+9.06%上昇となりました。

#### 【日本債券市場】

日本債券市場は、月前半、原油価格の下落やギリシャのユーロ離脱観測の再燃からリスク回避志向が強まり、金利は低下(価格は上昇)しました。月後半は、株価が堅調だったことを受けて上昇(価格は下落)した後一時低下ましたが、日銀による国債買入れオペで応札倍率が上昇したことで、債券需給の逼迫感が薄れたとの見方などから上昇しました。新発10年国債利回りは、月末は0.275%となりました(前月末は0.330%)。日銀はマネタリーベースが年間約80兆円に相当するペースで増加するよう金融市场調節を行いました。無担保コール(翌日物)は0.1%程度の水準で推移しました。

#### 【外国債券市場】

米国債券市場は、月前半、原油価格下落がインフレ率の低下につながるとの見方などを受けて金利は低下(価格は上昇)しました。月後半は、欧州の国債と比較した相対的な利回り水準の高さから買いが優勢となったことや、ECBの追加金融緩和などを受けて低下基調で推移しました。米10年国債利回りは、月末は1.641%となりました(前月末は2.171%)。

欧洲債券市場は、月前半、ECBの追加金融緩和観測が強まる中、スイス中央銀行が対ユーロで無制限介入を突如終了すると同時に利下げを決定したことなどを受け、低下基調(価格は上昇)で推移しました。月後半は、ECBの量的金融緩和拡大の決定や、1月のユーロ圏消費者物価指数の低下などを受けて、過去最低水準に低下しました。独10年国債利回りは、月末は0.302%となりました(前月末は0.541%)。

FRB(米連邦準備制度理事会)は、FF(フェデラル・ファンド)金利の誘導目標を据え置き、年0.0~0.25%を維持しました。ECB(欧洲中央銀行)は政策金利を据え置き、年0.05%を維持しました。

#### 【外国為替市場】

米ドル/円相場は、月前半、米国株式の反発などを受けて円安となる場面がありましたが、米国長期金利の低下などを背景に円高が進行しました。月後半は、IMF(国際通貨基金)が米国の成長率を引き上げたことから円安となりましたが、その後は揉み合いで推移しました。円は対ドルで前月末比2円30銭円高ドル安の1ドル=118円25銭となりました(前月末比△1.91%下落)。

ユーロ/円相場は、月前半、ユーロ圏の消費者物価指数の低下を受けてECBによる追加金融緩和実施への期待が高まつたことやスイス中央銀行が対ユーロでのスイス・フランの上限を撤廃したことなどにより円高となりました。月後半は、1月25日のギリシャ総選挙結果を受けて一時円高が進行しましたが、米国株式市場の反発などを背景に下げ幅を縮小し、円安基調で推移しました。円は対ユーロで前月末比12円66銭円高ユーロ安の1ユーロ=133円88銭となりました(前月末比△8.64%下落)。

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先： カスタマーサービスセンター

Tel 0120-568-093

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

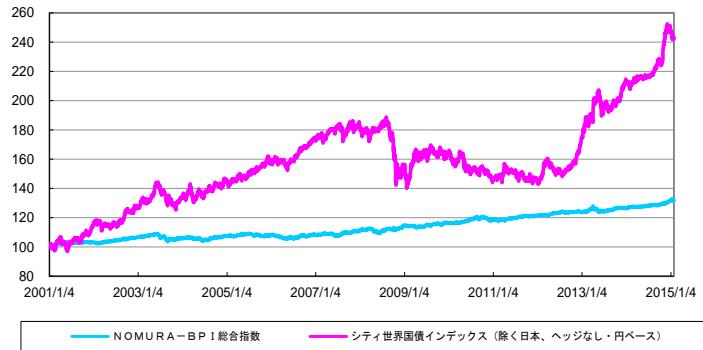
#### 日本と外国の株式市場の推移

\*下記グラフは2001年1月4日を100として指標化しています。

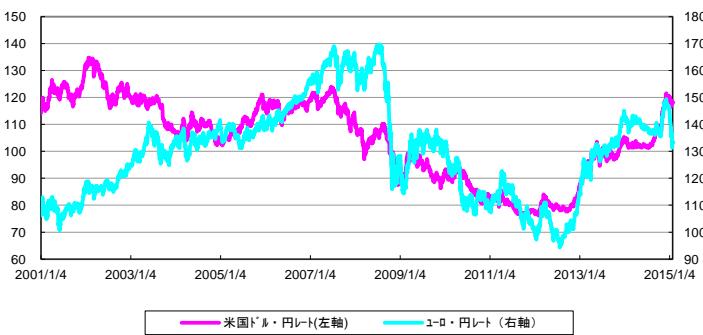


#### 日本と外国の債券市場の推移

\*下記グラフは2001年1月4日を100として指標化しています。



#### 外国為替市場の推移



出所：株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

# 変額保険

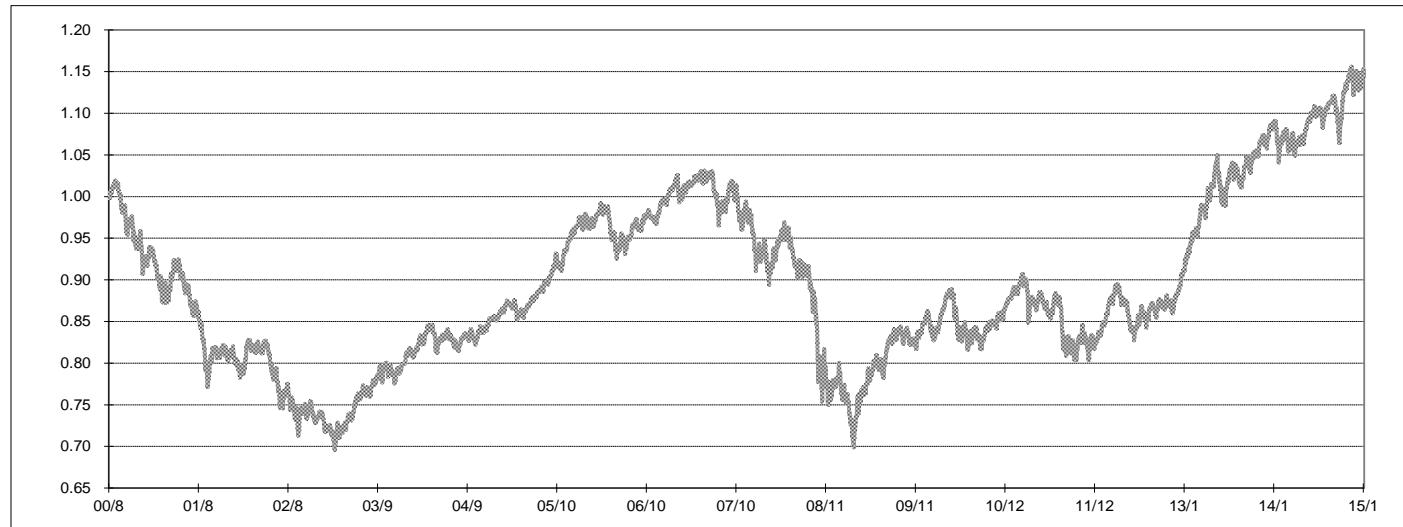
## 特別勘定の月次運用レポート（2015年1月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

### 特別勘定の運用状況 [ 2015年1月 末日現在 ]

#### ■特別勘定のINDEXの推移

※ 特別勘定のINDEXは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



	2015年1月末	2014年12月末	2014年11月末	2014年10月末	2014年9月末	2014年8月末
INDEX	1.147	1.148	1.146	1.115	1.115	1.106
	過去1ヶ月	過去3ヶ月	過去6ヶ月	過去1年	過去3年	設定来
騰落率(%)	▲0.07	2.93	3.82	7.78	35.78	14.72

※ 特別勘定のINDEXは、2000年8月1日を1.00として計算しています。

※ 謄落率は、該当月の月末のINDEXに対する当月末のINDEXの変動率を表しています。

#### ■特別勘定資産の内訳

項目	金額(千円)	比率(%)
現預金・その他	2,010,308	4.6
その他有価証券	41,747,632	95.4
アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A)	4,408,953	10.1
アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B)	6,608,498	15.1
アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A)	6,449,250	14.7
アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A)	4,551,846	10.4
アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B)	19,729,082	45.1
合計	43,757,940	100.0

※ 各特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。

※ 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

#### ■特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

当月のINDEX騰落率等は上記をご参照願います。

資産配分に関しましては、基本資産配分を概ね維持しております。(株式部分は、日本株式25%、欧米株式25%の資産配分といたしました。)  
今後も引き続き、運用方針に沿って運用を行う予定ですが、将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更されることがあります。

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先： カスタマーサービスセンター

Tel 0120-568-093

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

## 変額保険

### 特別勘定の月次運用レポート(2015年1月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

#### アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A)〈適格機関投資家私募〉の運用状況

[ 2015年1月 末日現在 ]

##### ■ 当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2000年8月3日)の前日を10,000として指数化しています。

##### ■ 当投資信託の騰落率

	過去1ヶ月	過去3ヶ月	過去6ヶ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	0.82%	6.46%	11.20%	17.77%	95.16%	22.05%
BM	0.54%	6.11%	9.74%	15.93%	87.36%	▲4.55%
差	0.28%	0.36%	1.45%	1.85%	7.80%	26.60%

##### ■ マザーファンド受益証券の詳細情報

###### ○ 業種別構成比率

	業種	マザーファンド
1	電気機器	13.48%
2	輸送用機器	12.84%
3	銀行業	8.22%
4	情報・通信業	7.56%
5	化学	7.37%
6	小売業	6.65%
7	医薬品	5.40%
8	卸売業	4.51%
9	その他業種	32.88%
10	現金等	1.08%
合計		100.00%

###### ○ 組入上位10銘柄

	銘柄	業種	マザーファンド
1	トヨタ自動車	輸送用機器	5.10%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.42%
3	KDDI	情報・通信業	2.26%
4	日本電信電話	情報・通信業	2.13%
5	本田技研工業	輸送用機器	1.92%
6	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.86%
7	ソフトバンク	情報・通信業	1.56%
8	アステラス製薬	医薬品	1.38%
9	キヤノン	電気機器	1.35%
10	東海旅客鉄道	陸運業	1.14%
合計		22.13%	
組入銘柄数		261銘柄	

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

##### ■ 当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比+0.82%となりました。一方、ベンチマークである東証株価指数(TOPIX)の騰落率は、前月末比+0.54%となりました。当月の日本株式市場では、配当利回りの高い銘柄が相対的に上昇する基調にあり、当投資信託ではこれらの銘柄をベンチマーク対比で多めに保有していたことはプラスに寄与しました。委託会社独自の業種別では、ベンチマーク対比で、多めに保有していた移動体通信が上昇したことや少なめに保有していた機械が下落したことはプラスに寄与しました。一方個別銘柄では、ベンチマーク対比で、多めに保有していた三井UFJフィナンシャル・グループ(8306)や三井住友フィナンシャルグループ(8316)が下落したことはマイナスに寄与しましたが、多めに保有していたケオホールディングス(2681)や日本電信電話(9432)が上昇したことはプラスに寄与しました。

当投資信託の運用方針は、わが国の企業の株式から個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別し、ポートフォリオをベンチマークからの乖離が一定の範囲内に収まるよう構築することで、中・長期的な観点から安定的にベンチマークを上回る運用を目指します。割安株の選別は、独自に開発したシステムティックなモデル(定量分析)を幅広い銘柄に適用し、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目して、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

##### ■ 利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A) 〈適格機関投資家私募〉

【委託会社】 アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本の株式を対象に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。定量スクリーニングによって割安度が高く、かつ成長性の高い銘柄を中心に投資します。

※ 当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・日本株式

マザーファンド受益証券(適格機関投資家私募)に投資します。

※ 設定來の騰落率は、投資信託の設定日(2000年8月3日)の前日を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX)<sup>1</sup>です。

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

###### ○ 市場別構成比率

	市場	マザーファンド
1	東京証券取引所第一部	98.92%
2	現金等	1.08%
合計		100.00%

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。 · 4ページ~8ページに記載されている「\*1~\*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先： カスタマーサービスセンター

Tel 0120-568-093

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

## 変額保険

### 特別勘定の月次運用レポート(2015年1月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

#### アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B)〈適格機関投資家私募〉の運用状況

[2015年1月 末日現在]

##### ■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を10,000として指数化しています。

##### ■当投資信託の騰落率

	過去1ヶ月	過去3ヶ月	過去6ヶ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	0.23%	6.24%	10.07%	17.06%	89.40%	41.50%
BM	0.54%	6.11%	9.74%	15.93%	87.36%	9.75%
差	▲0.30%	0.13%	0.32%	1.13%	2.04%	31.75%

##### ■マザーファンド受益証券の詳細情報

###### ○ 業種別構成比率

	業種	マザーファンド
1	電気機器	13.00%
2	輸送用機器	10.89%
3	化学	9.52%
4	情報・通信業	8.77%
5	銀行業	7.20%
6	小売業	6.58%
7	医薬品	5.77%
8	卸売業	5.24%
9	その他業種	31.73%
10	現金等	1.28%
合計		100.00%

###### ○ 組入上位10銘柄

	銘柄	業種	マザーファンド
1	トヨタ自動車	輸送用機器	5.08%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.42%
3	KDDI	情報・通信業	2.43%
4	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.34%
5	日本電信電話	情報・通信業	2.34%
6	アステラス製薬	医薬品	2.14%
7	キヤノン	電気機器	2.08%
8	東海旅客鉄道	陸運業	1.98%
9	NTTドコモ	情報・通信業	1.76%
10	三菱電機	電気機器	1.71%
合計			25.28%
組入銘柄数			137銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

##### ■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比+0.23%となりました。一方、ベンチマークである東証株価指数(TOPIX)の騰落率は、前月末比+0.54%となりました。当月の日本株式市場では、配当利回りの高い銘柄が相対的に上昇する基調にあり、当投資信託ではこれらの銘柄をベンチマーク対比で多めに保有していたことはプラスに寄与しました。委託会社独自の業種別では、ベンチマーク対比で、多めに保有していた移動体通信や医薬品が上昇したことはプラスに寄与しました。一方、個別銘柄では、ベンチマーク対比で、多めに保有していた青山商事(8219)や日本電信電話(9432)が上昇したことはプラスに寄与しましたが、多めに保有していた日立建機(6305)やオリックス(8591)が下落したことはマイナスに寄与しました。

当投資信託の運用方針は、わが国の企業の株式から、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別し、積極的に投資することで、ベンチマークを中・長期的に上回る運用を目指します。割安株の選別は、独自に開発したシステムティックなモデル(定量分析)を幅広い銘柄に適用し、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目して、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

※ 将來の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

##### ■利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B)〈適格機関投資家私募〉

【委託会社】 アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本の株式を対象に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。定量スクリーニングによって割安度が高く、かつ成長性の高い銘柄を中心に積極的に投資します。

※ 当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式  
マザーファンド受益証券(適格機関投資家私募)に投資します。

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX)<sup>1\*</sup>です。

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産額額比となります。

###### ○ 市場別構成比率

	市場	マザーファンド
1	東京証券取引所第一部	95.32%
2	その他の市場	1.84%
3	ジャスダック証券取引所	1.07%
4	東京証券取引所第二部	0.48%
5	名古屋証券取引所第一部	0.01%
6	現金等	1.28%
合計		100.00%

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・4ページ~8ページに記載されている「\*1~\*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先： カスタマーサービスセンター

Tel 0120-568-093

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

## 変額保険

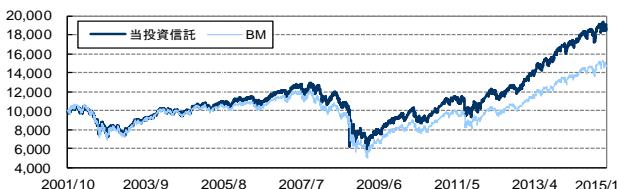
### 特別勘定の月次運用レポート(2015年1月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

#### アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A)〈適格機関投資家私募〉の運用状況

[ 2015年1月 末日現在 ]

##### ■ 当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2001年10月16日)の前日を10,000として指数化しています。

##### ■ 当投資信託の騰落率

	過去1ヶ月	過去3ヶ月	過去6ヶ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	▲3.35%	1.81%	2.56%	13.41%	66.56%	86.91%
BM	▲3.34%	1.22%	2.42%	12.34%	52.66%	47.63%
差	▲0.00%	0.58%	0.14%	1.07%	13.90%	39.28%

##### ■ マザーファンド受益証券の詳細情報

###### ○ セクター別構成比率

	セクター	マザーファンド
1	ソフトウェア・サービス	10.67%
2	医薬品・バイオテクノ・ライフ	10.42%
3	テクノロジー・ハードウェア	7.16%
4	エネルギー	6.82%
5	ヘルスケア機器・サービス	6.23%
6	公益事業	5.56%
7	食品・飲料・タバコ	5.10%
8	保険	5.08%
9	その他業種	42.31%
10	現金等	0.65%
合計		100.00%

###### ○ 組入上位10銘柄

	銘柄	国名	セクター	マザーファンド
1	APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア	4.81%
2	JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	銀行	2.06%
3	PFIZER INC	アメリカ	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.86%
4	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.65%
5	EXXON MOBIL CORPORATION	アメリカ	エネルギー	1.62%
6	GILEAD SCIENCES INC	アメリカ	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.47%
7	INTL BUSINESS MACHINES CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.35%
8	PEPSICO INC	アメリカ	食品・飲料・タバコ	1.34%
9	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.31%
10	ORACLE CORPORATION	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.30%
合計				18.77%
組入銘柄数				225銘柄

※ 上記銘柄は、推薦または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

##### ■ 当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比▲3.35%となりました。一方、ベンチマークであるS&P500種株価指数(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの)の騰落率は、前月末比▲3.34%となりました。当月の米国株式市場は、純資産利回りの高い銘柄が相対的に下落する基調にあり、当投資信託ではこれらの銘柄をベンチマーク対比で多めに保有していたことはマイナス寄与しました。委託会社独自の業種別では、ベンチマーク対比で、多めに保有していた電力やコンピューターが上昇したことはプラスに寄与しました。一方、個別銘柄では、ベンチマーク対比で、多めに保有していた医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンスのGilead Sciences Incやテクノロジー・ハードウェアおよび機器のApple Incが上昇したことはプラスに寄与ましたが、多めに保有していた銀行のJpmorgan Chase & Coや半導体・半導体製造装置のMicron Technology Incが下落したことはマイナスに寄与しました。

当投資信託の運用方針は、米国企業の株式の中で、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的に安定的に上回る運用を目指します。割安株の選別は、銘柄選択用クオンツモデル(定量分析)等により、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目し、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

※ 将來の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・4ページ~8ページに記載されている「\*1~\*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先： カスタマーサービスセンター

Tel 0120-568-093

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

## 変額保険

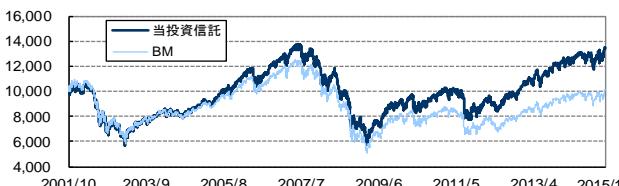
### 特別勘定の月次運用レポート(2015年1月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

#### アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A)〈適格機関投資家私募〉の運用状況

[ 2015年1月 末日現在 ]

##### ■ 当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2001年10月16日)の前日を10,000として指数化しています。

##### ■ 当投資信託の騰落率

	過去1ヶ月	過去3ヶ月	過去6ヶ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	3.33%	8.48%	5.18%	10.70%	50.96%	34.20%
BM	3.43%	7.50%	4.09%	8.34%	35.56%	0.88%
差	▲0.09%	0.98%	1.09%	2.36%	15.40%	33.32%

##### ■ マザーファンド受益証券の詳細情報

###### ○ 国別構成比率

	国名	マザーファンド
1	イギリス	29.83%
2	フランス	15.33%
3	ドイツ	13.47%
4	スイス	12.45%
5	オランダ	6.37%
6	スペイン	5.47%
7	スウェーデン	4.36%
8	イタリア	2.79%
9	その他の国	9.35%
10	現金等	0.58%
合計		100.00%

※ 設定來の騰落率は、投資信託の設定日(2001年10月16日)の前日を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、MSCI欧州株価指数<sup>3</sup>(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの／円ベース)です。

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

###### ○ セクター別構成比率

	セクター	マザーファンド
1	医薬品・バイオテクノ・ライフ	11.81%
2	食品・飲料・タバコ	11.54%
3	銀行	10.12%
4	保険	8.49%
5	資本財	8.45%
6	素材	6.39%
7	電気通信サービス	5.64%
8	エネルギー	5.38%
9	その他業種	31.60%
10	現金等	0.58%
合計		100.00%

###### ○ 組入上位10銘柄

	銘柄	国名	セクター	マザーファンド
1	ERICSSON LM-B SHS	スウェーデン	テクノロジー・ハードウェア	0.75%
2	NOVO NORDISK A/S B	デンマーク	医薬品・バイオテクノ・ライフ	0.84%
3	TELIASONERA AB	スウェーデン	電気通信サービス	0.46%
4	A P MOLLER - MAERSK A/S	デンマーク	運輸	0.57%
5	YARA INTERNATIONAL ASA	ノルウェー	素材	0.46%
6	HSBC HOLDINGS PLC	イギリス	銀行	2.87%
7	GLAXOSMITHKLINE PLC	イギリス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	2.29%
8	NESTLE SA-REGISTERED	スイス	食品・飲料・タバコ	2.29%
9	BRITISH AMERICAN TOBACCO PLC	イギリス	食品・飲料・タバコ	2.28%
10	SANOFI	フランス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	2.20%
合計				15.01%
組入銘柄数				208銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

##### ■ 当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比+3.33%となりました。一方、ベンチマークであるMSCI欧州株価指数(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの)の騰落率は前月末比+3.43%となりました。当月の欧州株式市場は、配当利回りの高い銘柄が相対的に上昇する基調にあり、当投資信託ではこれらの銘柄をベンチマーク対比で多めに保有していたことはプラスに寄与しました。委託会社独自の業種別では、ベンチマーク対比で、少なめに保有していた銀行や石油メジャーが下落したことはプラスに寄与しました。国別では下落したイギリスの銘柄を多めに保有していたことはマイナスに寄与しました。一方、個別銘柄では、ベンチマーク対比で、多めに保有していた素材のRio Tinto(イギリス)が下落したことはマイナスに寄与しましたが、少なめに保有していたエネルギーのRoyal Dutch Shell Plc(オランダ)が下落したことはプラスに寄与しました。当投資信託の運用方針は、欧州企業の株式の中で、個別銘柄の市場価格が適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的に安定的に上回る運用を目指します。割安株の選別は、銘柄選択用クオンツモデル(定量分析)等により、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目し、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・ 表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・ 4ページ~8ページに記載されている「\*1~\*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

#### 【引受保険会社】

#### アクサ生命保険株式会社

お問合せ先： カスタマーサービスセンター

Tel 0120-568-093

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

# 変額保険

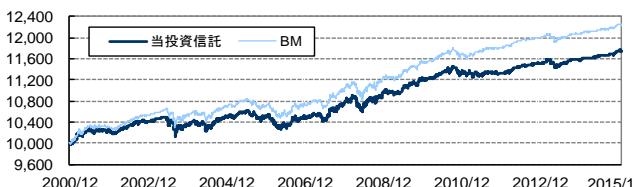
## 特別勘定の月次運用レポート（2015年1月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

### アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B)〈適格機関投資家私募〉の運用状況

[ 2015年1月 末日現在 ]

#### ■ 当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を10,000として指数化しています。

#### ■ 当投資信託の騰落率

	過去1ヶ月	過去3ヶ月	過去6ヶ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	0.02%	0.50%	0.76%	1.25%	3.66%	17.53%
BM	▲0.11%	0.38%	0.62%	1.15%	3.41%	22.37%
差	0.13%	0.13%	0.14%	0.10%	0.25%	▲4.84%

#### ■ マザーファンド受益証券の詳細情報

##### ○ 資産構成

	修正デュレーション	マザーファンド
公社債	4.79 年	99.13%
国債	6.09 年	64.27%
地方債	0.00 年	0.00%
特殊債・財投債	1.40 年	2.70%
金融債	0.00 年	0.00%
社債等	2.49 年	32.15%
その他	0.00 年	0.00%
短期資産等*	0.00 年	0.87%
合計	4.75 年	100.00%

\* 債券先物を含みます。

※ 設定來の騰落率は、投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、日興債券パフォーマンス・インデックス(総合<sup>4</sup>、中期3年以上7年未満)です。

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

##### ○ 公社債の格付別構成比率

格付区分	マザーファンド
AAA	0.00%
AA	77.51%
A	19.32%
BBB	3.17%
BB以下(無格付含)	0.00%
合計	100.00%

格付基準:

※ 海外格付機関の格付を優先します。

※ 海外格付機関の格付取得の無い発行体は、国内格付機関の格付けを採用します。

##### ○ ポートフォリオの状況

	マザーファンド
平均複利利回り	0.19%
平均クーポン	1.09%
平均残存期間	4.95

※ 「複利利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮したものではありません。

#### ○ 組入上位10銘柄

銘柄	国名	クーポン	償還日	格付		マザーファンド
				ムーディーズ	S&P	
1 第303回利付国債(10年)	日本	1.400%	2019年9月20日	A1	AA-	7.97%
2 第326回利付国債(10年)	日本	0.700%	2022年12月20日	A1	AA-	6.08%
3 第335回利付国債(10年)	日本	0.500%	2024年9月20日	A1	AA-	5.69%
4 第305回利付国債(10年)	日本	1.300%	2019年12月20日	A1	AA-	5.12%
5 第322回利付国債(10年)	日本	0.900%	2022年3月20日	A1	AA-	4.64%
6 第330回利付国債(10年)	日本	0.800%	2023年9月20日	A1	AA-	4.52%
7 第315回利付国債(10年)	日本	1.200%	2021年6月20日	A1	AA-	2.82%
8 第295回利付国債(10年)	日本	1.500%	2018年6月20日	A1	AA-	2.76%
9 第298回利付国債(10年)	日本	1.300%	2018年12月20日	A1	AA-	2.76%
10 第112回利付国債(5年)	日本	0.400%	2018年6月20日	A1	AA-	2.66%
合計				45.02%		
組入銘柄数				54銘柄		

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

#### ■ 当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比+0.02%、一方、ベンチマークである日興債券パフォーマンス・インデックス(総合、中期3年以上7年未満)は前月末比▲0.11%となりました。当月の当投資信託は前月からの戦略を維持し、ベンチマークをやや上回る結果となりました。当月は原油価格続落によるインフレ期待の後退やECBの強力な金融緩和姿勢等を受け、日本国債利回りは低下しました。当月末の日本10年国債の利回りは前月末比0.055%低下の0.275%となりました。

委託会社は、日銀の量的金融緩和策を背景にして、日本国債利回りは低位で推移すると予想しています。今後の当投資信託の方針として、デュレーション戦略ではしばらくベンチマーク並みの水準とし、種別戦略ではベンチマーク対比での少なめの配分になっている国債の組入れをさらに減らして、多めに配分している非国債の組入れをさらに増やす方針です。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・4ページ～8ページに記載されている「\*1～\*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先： カスタマーサービスセンター

Tel 0120-568-093

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

# 変額保険

## 用語説明

- \*1 「東証株価指数(TOPIX)」とは、東京証券取引所第一部に上場する国内株全銘柄を対象として算出した指數で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指數です。
- 東証株価指数(TOPIX)は、株式会社東京証券取引所(以下「株東京証券取引所」)の知的財産であり、この指數の算出、数値の公表、利用など株価指數に関するすべての権利は株東京証券取引所が有しています。
- 株東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止、またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
- \*2 「S&P500種株価指數」とは、スタンダード＆プアーズ社が公表している株価指數で、米国的主要500社によって構成されています。当該指數に関する一切の知的財産権その他一切の権利はスタンダード＆プアーズ社に帰属しています。S&P500種株価指數(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの)は、S&P500種株価指數(米ドルベース)に対し、委託会社が為替ヘッジコスト相当分を調整して、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を用いて円ベースに換算したものです。
- \*3 「MSCI歐州株価指數」とは、MSCI Inc. の算出する歐州株式市場の動きを示す指數です。MSCI歐州株価指數に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。
- また、MSCI Inc. は、指數の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。MSCI歐州株価指數(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの)は、MSCI歐州株価指數(ユーロベース)に対し、委託会社が為替ヘッジコスト相当分を調整して、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を用いて円ベースに換算したものです。
- \*4 「日興債券パフォーマンス・インデックス(総合)」とは、日興フィナンシャル・インテリジェンス株式会社が発表している、日本の債券市場の動きを表す指數です。国債、地方債、政府保証債、財投機関債、金融債、事業債などの円建て公募利付債で構成されています。対象となる債券は残存年数1年以上、残存額面10億円以上で、格付機関からBBB格相当以上の格付を取得している発行体に限られます。同指數に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はSMBC日興証券株式会社に帰属します。また、SMBC日興証券株式会社は同指數の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

## 注意事項

### ○変額保険の仕組み

変額保険とは、保険金額が「特別勘定」の資産運用実績にもとづいて変動する生命保険です。

\*特別勘定とは、変額保険にかかる資産の管理・運用を行うもので、他の保険種類にかかる資産とは区分し、独立して管理・運用を行います。

### ○変額保険のリスクについて

#### ①市場リスク

特別勘定の資産運用には、株価の低下や為替の変動等による投資リスクがあります。場合によっては、お受け取りになる保険金額(有期型の場合、満期保険金を含む)や解約払いもどし金額の合計額が、払い込まれた保険料の合計額を下回る可能性があります。なお運用実績にかかわらず、死亡・高度障害時保険金は保証されています。

#### ②信用リスク

万一、引受生命保険会社が経営破綻に陥った場合、ご契約時にお約束した給付金等の金額が削減されることがあります。その場合、生命保険契約者保護機構により、保険契約者保護の措置が図られることがありますが、この場合にも、ご契約時の給付金等の金額が削減されることがあります。

### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先： カスタマーサービスセンター

Tel 0120-568-093

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

## 契約月別の運用実績の例

(一時払、男性40歳加入、基本保険金額1,000万円の場合)

契約日	終身型		契約月別 運用実績 (%)	年複利 (%)
	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)		
平成12年 8月 1日	1,000	-486	14.72	0.95
平成12年 9月 1日	1,000	-494	13.02	0.85
平成12年 10月 1日	1,000	-471	16.25	1.06
平成12年 11月 1日	1,000	-452	18.88	1.22
平成12年 12月 1日	1,000	-431	21.92	1.41
平成13年 1月 1日	1,000	-411	24.61	1.57
平成13年 2月 1日	1,000	-422	22.33	1.45
平成13年 3月 1日	1,000	-387	27.56	1.76
平成13年 4月 1日	1,000	-366	30.42	1.94
平成13年 5月 1日	1,000	-389	26.27	1.71
平成13年 6月 1日	1,000	-382	27.04	1.77
平成13年 7月 1日	1,000	-367	28.81	1.88
平成13年 8月 1日	1,000	-340	32.60	2.11
平成13年 9月 1日	1,000	-301	38.29	2.45
平成13年 10月 1日	1,000	-253	45.37	2.85
平成13年 11月 1日	1,000	-269	42.38	2.70
平成13年 12月 1日	1,000	-274	41.07	2.65
平成14年 1月 1日	1,000	-273	40.63	2.64
平成14年 2月 1日	1,000	-245	44.47	2.87
平成14年 3月 1日	1,000	-252	42.86	2.80
平成14年 4月 1日	1,000	-265	40.26	2.67
平成14年 5月 1日	1,000	-258	40.88	2.72
平成14年 6月 1日	1,000	-260	40.07	2.70
平成14年 7月 1日	1,000	-222	45.49	3.02
平成14年 8月 1日	1,000	-187	50.54	3.33
平成14年 9月 1日	1,000	-183	50.53	3.35
平成14年 10月 1日	1,000	-153	54.81	3.61
平成14年 11月 1日	1,000	-150	54.79	3.63
平成14年 12月 1日	1,000	-163	52.11	3.51
平成15年 1月 1日	1,000	-135	56.10	3.75
平成15年 2月 1日	1,000	-108	59.83	3.99
平成15年 3月 1日	1,000	-100	60.46	4.05

### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問い合わせ先： カスタマーサービスセンター

Tel 0120-568-093

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

契約日	終身型		契約月別 運用実績 (%)	年複利 (%)
	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)		
平成15年 4月 1日	1,000	-96	60.65	4.09
平成15年 5月 1日	1,000	-111	57.37	3.93
平成15年 6月 1日	1,000	-125	54.67	3.81
平成15年 7月 1日	1,000	-142	51.42	3.65
平成15年 8月 1日	1,000	-150	49.49	3.56
平成15年 9月 1日	1,000	-157	47.84	3.48
平成15年 10月 1日	1,000	-158	47.18	3.47
平成15年 11月 1日	1,000	-167	45.17	3.37
平成15年 12月 1日	1,000	-162	45.40	3.41
平成16年 1月 1日	1,000	-172	43.43	3.31
平成16年 2月 1日	1,000	-182	41.39	3.20
平成16年 3月 1日	1,000	-191	39.40	3.09
平成16年 4月 1日	1,000	-203	37.16	2.96
平成16年 5月 1日	1,000	-200	37.11	2.98
平成16年 6月 1日	1,000	-188	38.30	3.09
平成16年 7月 1日	1,000	-197	36.43	2.98
平成16年 8月 1日	1,000	-179	38.65	3.16
平成16年 9月 1日	1,000	-178	38.38	3.17
平成16年 10月 1日	1,000	-176	38.16	3.18
平成16年 11月 1日	1,000	-170	38.46	3.23
平成16年 12月 1日	1,000	-179	36.64	3.12
平成17年 1月 1日	1,000	-191	34.35	2.97
平成17年 2月 1日	1,000	-189	34.22	2.99
平成17年 3月 1日	1,000	-200	32.10	2.85

注(1) 保険金額は、基本保険金額に変動保険金額を加えた保障額を示したものです。ただし、変動保険金額が負値の場合、保険金額は基本保険金額を表示しています。

(2) 契約月別運用実績は、契約時点に特別勘定に投入した金額の平成27年1月末までの運用実績を示したものです。  
なお、この運用実績は、ご契約者の支払われた保険料から死亡保障額等に当てられたものを控除した部分の伸び率です。

(3) 年複利は契約月別運用実績を年複利換算したものです。

(4) 終身型は、平成17年3月31日で販売終了しています。

(5) 有定期は平成14年10月31日で販売終了しています。平成24年10月31日で全ての契約が保険期間を満了しました。